



ゆり組の様子No.5



ドッジボールや鬼ごっこなどの集団遊びを通してルールを覚えたり、今までは集団遊びに「怖い」「苦手だな」という気持ちをもっていた子も、友達と一緒にやってみたことで「楽しい」という気持ちに変わっていきました。

まぜまぜクラスでは、仲の良い友達だけでなく他クラスの友達とも過ごして、様々な友達と関わることを楽しんでいました。年長の部屋で遊んでイメージを膨らませていました。



自然観察園では、花びらを拾って友達と「きれいだね」と伝え合ったり、木登りをしてミカンを収穫したりして、この時期ならではの自然に自ら触れることを楽しんでいました。



アビースクールの日は戸外給食でした。みんなで部屋に椅子を丸く並べ、好きな場所で食べました。友達との会話を楽しんだことはもちろん、こぼさずに食べられることが増えました。



にじいろ畑の野菜を収穫しました。「うんとこしょ。どっこいしょ。」と言いながらキャベツをみんなで引っ張りました。自分達で収穫した野菜が給食に出ると、嬉しそうに見つめたり、味わったりしていました。



折り紙制作をしてから、遊びの時間にも「作りたい!」と言い、自分で作り方を見ながら作ったり、わからないところは友達に聞いたりして、自分達で遊びを進めていく中で助け合って解決しようとする姿が見られました。



みんなで風船リレーをしました。その中で「今、風船ここにあるよ!」「パス!」などと言い、早く風船を渡すための工夫をしていました。



部屋に掲示している「お手玉チャレンジ」の表を見ながら、お手玉を使った技に挑戦していました。友達と「これできたよ!」と伝えたり、黙々と技ができるまで集中したりと、それぞれにお手玉遊びを楽しんでいました。

